

私学高等教育研究所 第86回公開研究会

高等教育の修学支援新制度

—大学・学生への影響と展望—

日 時：2026年6月1日（月）13：30～16：00
会 場：オンライン開催
主 催：日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所

私学高等教育研究所の「私立大学の財務・財政に関する研究プロジェクト」では、創設後5年を経た修学支援新制度が多子世帯や理工農系へと拡充してきたことを受け、その影響と今後の課題を検討するため、昨年10～11月に全私立大学を対象とする実態調査を行った。本研究会では、調査結果を中心に修学支援新制度の問題点を整理し、学生支援の今後の在り方について協議したい。

講演1. 「修学支援新制度が大学財務と家計・学生生活にもたらしたもの」(13:30～14:15)

講師：浦田 広朗 氏（桜美林大学 大学院国際学術研究科 教授/本研究所研究員）

概要：構想時に7,600億円を見積り、実施段階（2020年度）では4,882億円という巨額の予算を投入して創設された修学支援新制度は、大学財務と家計・学生生活に大きな正の効果をもたらすものと期待された。実際はどうであったか。十分な効果がもたらされていないとすれば、どこに原因があるのかを考えてみたい。

講演2. 「修学支援新制度と私立大学独自学生支援制度の相関分析」(14:15～15:00)

講師：小林 雅之 氏（桜美林大学 教育探究科学群 学群長・特任教授/本研究所客員研究員）

概要：修学支援新制度が私立大学にどのような影響を与えているか、いくつか実証研究が見られるようになった。しかし、新制度が大学独自奨学金にどのような影響を与えているかについては、明らかにされていない。これを踏まえ、新たに私学高等教育研究所が実施した調査により、大学独自奨学金の現状と、新制度の影響を明らかにする。

休 憩 （15:00～15:10）

パネルディスカッション（15:10～16:00）

パネリスト

浦田 広朗 氏（桜美林大学 大学院国際学術研究科 教授/本研究所研究員）

小林 雅之 氏（桜美林大学 教育探究科学群 学群長・特任教授/本研究所客員研究員）

白川 優治 氏（千葉大学 大学院国際学術研究院 教授/本研究所研究員）

司 会：西井 泰彦（本研究所主幹）

お申込み

日本私立大学協会webサイト（<https://www.shidaikyo.or.jp/>）“トピックス”の公開研究会の開催案内から「申込フォーム」に記入の上、2026年5月25日（月）までにお申し込みください。終了後に期間限定で行う録画配信をご希望の方もお申込みください。

○参加料は無料です。

○お申し込み時に登録されたメールアドレスに、申し込み完了の自動返信メールが送信されます。15分経過してもメールが届かない場合には、お手数ですが研究所までご連絡ください。

○本公開研究会は、web開催です。視聴用のURLと配布資料は、お申し込みいただいたメールアドレスに、**開催日前日迄**にご案内いたします。

○ご登録いただいた情報は、本研究所の事業運営に必要な範囲に限って利用いたします。

○講演内容等は変更になることがございます。

○録画・録音・撮影は、禁止とさせていただきます。

【問合せ先】日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 担当：坂下 景子、三井 渉

TEL：03-5211-5090 / MAIL：info@riihe.jp